

やっぱりすごい! ジョルジオ・アルマーニの自邸を大公開

ELLE DECOR

ソファ選びに
強くなる!
家具図鑑
136

エル・デコ
10月号 OCTOBER 2013



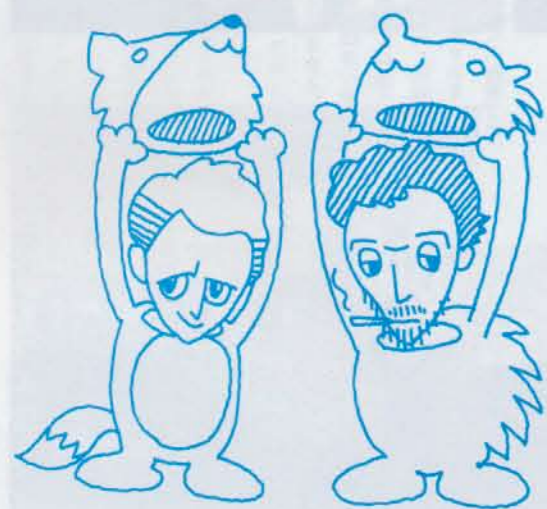
FASHION × DESIGN

モード界がインテリアに急接近!

ファッションが 生まれる家へ!

床・壁・天井がいちばん大事!
“内側がいい”家

別冊付録「Life Design Lab」



古代ギリシャの詩の一篇をたとえに使い、人間をハリネズミ型とキツネ型に分類するという話。ブルレック兄弟にこの分類をあてはめると、こうなる?! 佐藤オオキさんがイラストで表現。

FOX & HEDGEG
RONAN ERWAN

“じゃあ、これは? (ムキになって) この本は持っていないでしょ。相当、昔のものだからね”
— ロナン・ブルレック

を完全に無視しているのです。スケッチそのままの荒々しいワックス製の模型や、黒板の原寸大スケッチを見る限り、何度も行ったり来たりしながら最終形を炙り出していることが見受けられます。猛烈な自由とこだわりが凝縮されたモノ作りのオーラが、事務所の隅々からピンピン伝わってきます。そんなことを考えながら眺めていると、さらに気になることが。

オオキ あれ? 会議室はどこらに?
兄 ?
オオキ いや、その……、打ち合わせとかプレゼンとかしますよね?
兄 ああ、それなら自分のデスクか、あとはエルワンのデスクを使っています。それで充分なので(無笑)。
——「どうやらさういふことへのこだわりが、まったくないらしい(笑)。」

兄 あ、でも、簡単な撮影ができるスタジオがあり、すごく重宝しています。——やはり、そこは「こだわらんだ(笑)」。そういったこだわりの基準にも、ブルレックらしさを感じるから不思議です。事務所は8人で運営されています。

兄 原則としてアシスタントは新卒採用のみ。私たちはほかの事務所と働いた経験がなく、試行錯誤でやってきたので、アシスタントにも同じようなプロセスで成長してもらいたいです。

オオキ ブルレック事務所はここ数年間で、新進鋭のデザイナーを多く輩出していますよね。コンスタンス・ギセ、イオナ・ヴォートランなど、デビュー間もないのにすでにフランスを代表するデザイナーですもんね。一体、この空間で何が起きているんですか(笑)。

兄 勤める方には「必ず5年間は続けてほしい」とお願いしますが、特別なことはしていません。週末は休みだし、遅い時間まで働かないから、ほかの時間で各自が活動するという感じで。



右がシャイな兄のロナン、中央が弟エルワン。「やっと同世代に会えたー! ずっと小さい子供がウロウロしていると思われてきたから、うれしいなー」と感激するエルワン。今度、向かいのバーで飲む約束も交わした。

今回はロナン&エルワン・ブルレックさんの事務所へ! ブルレック兄弟といえば、フィリップ・スタルク以降のフランスに現れた、人気デザイナーデュオです。今年、パリの装飾美術館で彼らの展覧会「MOMENTANE」(9月1日で終了)が開催。この若さでこの規模の展覧会が開かれること自体、彼らのスター性を物語っています。

展覧会では、本でしか見たことがなかった数々の初期作品との対面に、涙腺が緩みっぱなしです。ただし、そんな余韻に浸るヒマもなく、彼らが待ち受ける事務所に移動。波瀾に巻き込まれつつタクシーに乗ること30分、古い町工場や倉庫が立ち並ぶエリアの一角に、ブルレック事務所はありました。

会議室はなくとも、スタジオにはこだわる!

オオキ すみません、遅くなりました。
兄(ロナン) 全然大丈夫ですよ。
弟(エルワン) コメンコメン。この作業だけ終わらせたいんだ。ちょっと待って。ほんと「コメン」。

オオキ あ、自分のことは気にしないでやっちゃってください。お兄さんにかまってもらうので(笑)。

——「ということ、事務所見学です。古い倉庫を改装して7年前から使っているらしく、壁には手描きのスケッチやプリントアウトされたCAD図面が所狭しと貼られています。模型の端材や試作品が散乱し、さながらアーティストのアトリエといった雰囲気。布紙粘土、発泡スチロール、ウレタン、針金などもあり、素材と戯れるように造形する様子が目に浮かびます。

「ここでは「スケッチ」を描き、全体のフォルムが見えたら「CG」で検証し、小さな「模型」を作製して、原寸の「プロトタイプ」を作る、という通常のフロー